

●第16回臨床解剖研究会のご案内

(第30回愛知大腸肛門疾患懇話会共催)

会 期：2012年9月8日(土)

会 場：WINC あいち(愛知県産業労働センター)10階会議室
(〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38 電話 052-571-6131)

当番世話人：前田耕太郎 教授(藤田保健衛生大学医学部消化器外科)

主 題：腹腔内臓器の解剖の全て

演題募集：主題ならびに一般演題を募集いたします。詳細は <http://www.jrsca.jp/> をご覧ください。

演題募集期間：2012年4月1日(日)～5月17日(木)

当番事務局・問合せ先：第16回臨床解剖研究会事務局

藤田保健衛生大学医学部下部消化管外科学内 担当：小出欣和

〒470-1192 豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98 電話 0562-93-9296 FAX 0562-93-8311

Email: yonge@fujita-hu.ac.jp

* * *

●編集後記

臨床解剖研究会記録 No. 12 をお届けいたします。本号は、昨年9月に東京大学で行われた第15回臨床解剖研究会の記録です。当番世話人の光嶋勲教授ならびに教室の皆様のご尽力により、多数の方々のご参加を得て充実した研究会となりました。この場を借りてあらためて御礼申し上げます。そしてなによりも、全身全科にかかわりをもつ形成外科学の先生方の参加により、研究会の幅が広がったことを喜びたいと思います。

さて、本研究会も今年の7月で創立15年を迎えることになり、世代の交代に伴い新しい革袋が必要となってまいりました。そこで、昨年暮れに将来構想検討WGを開いて本会の改革について鋭意検討を重ねていただいています。課題の一つの国際化については、まず隣の韓国や中国とシンポジウムを開催し、徐々に輪を広げて交流を深め、本研究会がアジア地域のリーダーとなって臨床解剖学を発展させて行こうという竜崇正委員長の構想を一同首肯。そのためにも医学・医療の各分野で臨床解剖の理解を深めようとしている学徒が増えていることは心強いことです。アジアにとどまらず日本が世界の臨床解剖学のリーダーとなるべき使命感を抱かせるWGでした。今後の布石にご注目ください。

本誌の製作を担当している小宮山印刷工業(株)は工場部門が気仙沼市にあります。東京から地方に移転した企業の先駆けで、いち早く近代的印刷技術を導入し、その地の基幹産業に成長して市町村の発展に貢献しています。高台にあったため昨年の東日本大震災の津波災害から幸いにも直撃の被害を受けることなく済みましたが、津波は工場の下まで押し寄せ、まさに危機一髪の状態であったとか。停電と断水からの復旧に時間がかかり予定より仕事が遅れることはあったものの、無事危機を乗り切ることができたこと、先ごろ出版された「東日本大震災と地域産業復興Ⅰ」(関満博著、新評論)に取り上げられています。震災後に示された日本人の底力ときめの細かい仕事ぶりを結び付けて、世界の臨床解剖学のバックボーンとして尊敬されるようになっていきたいものです。

日ざしが延びてきましたが、残寒の折ご自愛をお祈りいたします。

(会長 佐藤達夫)

臨床解剖研究会記録 No. 12 2012年2月発行

編集・発行 臨床解剖研究会

東京医科歯科大学臨床解剖学

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

TEL 03-5803-5145 FAX 03-5803-0116

<http://www.jrsca.jp/>

印刷・製本 小宮山印刷工業株式会社
